

問一 傍線部①②③の本文中における読みを現代仮名遣いで答えよ。ただし送り仮名を含めて書け。

- ①能<sup>ㇿ</sup> ( )      ②因<sup>ㇿ</sup> ( )      ③然<sup>ㇿ</sup> ( )

【解答】①(あたわ) ②(よりて) ③(しかりと)

問二 (あ)(い)にはそれぞれ同じ漢字が入る。適するものを次の選択肢から一つずつ選べ。

- (あ) 一、矣    二、而    三、於    四、也    五、兮

\*置き字について

於・于・乎…文中で補語の上に置かれ、「時間・場所・対象・目的・起点・比較・受け身」を表す。補語の送り仮名は「ニ・ト・ヨリ・ヨリモ」になる。

(例) 飢<sup>エテ</sup> 死<sup>ス</sup> 於<sup>ニ</sup> 首陽山<sup>ニ</sup>

而…文中で順接や逆説の接続を表す。直前の送り仮名が「テ・シテ・ヨリ・ヨリモ」となる。

(例) 亡<sup>ル</sup> 而<sup>シテ</sup> 入<sup>ル</sup> 胡<sup>ニ</sup>

焉・矣・也…文末で断定・強調・感嘆などの意を表す。

兮…詩の中で語調を整える働きをする。

【解答】(三)

(い)

- 一、乃    二、即    三、忽    四、則    五、雖

\*乃・即・則

乃ち…そこで

即ち…すぐに

則ち……すると \*通称「レバ則」

【解答】(四)

問三 傍線部④「兄弟猶此箭也」について

一、書き下し文にせよ

二、現代語訳せよ。

\*再読文字「猶…」 || 「猶…ごとし」(まるで…のようである)

【解答】一、(兄弟猶此の箭のごときなり) 二、(兄弟とはこの矢のようである)

問四

傍線部⑤「銘心」について、元就は子らに求めた内容を説明せよ。

【解答】(仲良くすればお互い頼りあつて何事もなすことができ、仲が悪くなればお一人一人がそれぞれに敗れてしまうこと)

問五

傍線部⑥は「どうして不仲になることがあろうか」となる。その内容となるように訓点をふれ。  
「何 不和 之 有」

\* 「何<sup>なん</sup> ◎<sup>カ</sup> 之<sup>コレ</sup> 有<sup>あらん</sup>」…反語・どうして◎があるだろうか、いやない

\* 「訓点・返り点・送り仮名」の違いを判断しよう。

【解答】(何 不和 之 有<sup>ラン</sup>)

問六

傍線部⑦「宜 從 仲 兄 之 言」について

一、書き下し文にせよ。

二、現代語訳せよ。

\*再読文字「宜…」||「宜しく…べし」(…するとよい)

【解答】一 (宜しく仲兄の言に従うべし) 二 (次男隆景の言葉に従うのがよい)